

2014 年度(平成 26 年度) 事業報告

2014 年 4 月 3 日～2015 年 3 月 31 日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

1. 事業の実施概要および成果

2003 年に設立したウッドマイルズ研究会の 10 年間の活動をふまえ、2014 年 4 月に一般社団法人ウッドマイルズフォーラムを設立した。

2014 年度は一般社団法人ウッドマイルズフォーラム設立の初年度として、定款に定める以下の(1)から(5)の事業を実施するとともに、特に当団体の中心的な事業となる「地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及、支援の事業」において、木材利用者を対象とした懸賞事業、及び木材供給者を対象とした供給事業者認定事業を立上げ、事業の本格的な開始に向けて準備を進めた。

(1) ウッドマイルズ関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアル及び算出プログラムについては、Ver.2008-04 を運用中。マニュアルの数値に基づいて、近年の木材流通の実態に応じたウッドマイルズ指標の算出、及びカーボンフットプリントなど近年の定量的指標の数値と比較するなど、原単位の検証に取り組んだ。

(2) 地域の木質資源の持続可能な利活用の手法に関する調査・研究・開発

木材調達チェックブックの内容を森林法の改正など近年の動向にあわせて改訂し WEB に公開した。

森林総合研究所との共同研究「森林及びび林業分野における温暖化緩和技術の開発－伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発」においては、5 つのシナリオ別の国産材供給データ、及び素材・製品の需要データに基づき、鉄道・船舶の利用やトラックの大型化によるモーダルシフト、及び素材・製品の調達エリアの縮小化による輸送過程炭素排出量を推計した。

日本森林学会において「木材の環境情報の伝達と木材の輸送距離」との演題で報告を行い、我が国の最近の木材流通の実態に即してウッドマイルズ指標を算出し、推移及び主な消費国との比較を行った。

(3) 地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及・支援

(木の建築賞事業)

木材利用者を対象として、地域の木質資源の持続可能な利活用に関する優れた仕組みや活動を実践している木材利用グループなどを発掘し、発表・議論・顕彰、情報発信などを通じて普及する顕彰事業を実施するため、実績のある類似の懸賞事業(木の建築賞/NPO 木の建築フォーラム主催)と連携し、2014 年度は協賛として参画した。2015 年度から事業を共催することも確定した。

(環境に貢献する木材の供給事業者のウッドマイルズ認定事業)

木材供給者を対象とし、環境に貢献する木材の環境情報の提供が円滑に進むように、「ウッドマイルズ関連指標をはじめとする多面的な指標」の信頼できる提供者の認定と、システム構築のため、ウッドマイルズフォーラム合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領、ウッドマイルズフォーラム合法性・持続可能性の証明に係るサプライチェーン承認要領などを制定し WEB に公表した。また、供給事業者向けの PR 資料を作成し大手流通業者などへの説明会を開催するなど普及に努めた。

(ウッドマイルズフォーラム 2014)

上記の事業の検討をすすめるため、「100 年後を見据えた地域の木質資源の利活用」をテーマとして一般社団法人設立記念セミナーを開催した。

(4) 関連する国内外の他団体との交流、連携

国産材製材協会の会合で説明会を開催しアンケート調査を実施したほか、顧問の就任継続依頼の機会に京都府、北海道などの地方自治体をはじめ、業界団体、大手流通事業者などに村組織の概要説明、協力依頼を行った。

(4)－1

一般社団法人緑の循環認証会議 SGEC 専門委員・評議員（藤原理事長）

- ・平成26年度 SGEC 第1回評議委員会・専門部会（9/25 永田町ビル（日本治山治水協会）
～ P E F Cとの相互承認について（申請、文書改訂、財政運営等）
（SGEC ホームページ <http://www.sgec-eco.org/> 意見交換会資料あり）
- ・平成26年度 SGEC 第2回評議委員会・専門部会（12/3 永田町ビル（日本治山治水協会）
～ P E F Cとの相互承認の相互承認申請に伴う S G E C文書の改正・制定について
- ・平成26年度 SGEC 第4回評議委員会・専門部会（1/23 永田町ビル（日本治山治水協会）
～ P E F Cとの相互承認の相互承認申請に伴うパブコメ対応について
- ・平成27年度 SGEC 第1回 事会・評議委員会（5/27 永田町ビル（日本治山治水協会）
～平成26年度事業実行状況、平成27年度事業計画・収支予算・役員評議委員の改選

(4)－2

一般社団法人日本木材輸出振興協会顧問としての活動（藤原理事長）

<http://www.j-wood.org/profile.php>

- ・26年6月19日 第1回理事会、総会出席
- ・27年1月29日 第2回理事会出席

(4)－3

REDD+ プラットフォーム加盟（藤原理事長）

<http://www.reddplus-platform.jp/platform/>

- ・気候変動の枠組みで途上国の森づくりを支援しようという枠組みが REDD+。
- ・これを支援する日本の団体の集まり。
- ・将来 REDD+で支援された森林発の林産物が市場に出た場合にそのトレーサビリティを支援する
ような活動を視野に入れて参加。

2. 各事業の概要

1. 一般社団法人ウッドマイルズフォーラム設立総会



日時／2014年7月29日(火)11:20～12:15

場所／木材会館 6階第1・第2会議室

(審議事項)

1)2014年度事業計画及び収支予算について

正会員13名および表決委任者52名による総会は、藤本議長のもと全ての議題が承認された。

2. ウッドマイルズフォーラム 2014

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム設立記念シンポジウム～100年後を見据えた地域の木質資源の利活用～



日時／2014年7月29日(火)13:30～17:00

場所／木材会館 7階ホール 後援／林野庁

(太田猛彦氏、箕輪光博氏、熊崎実氏、安藤邦廣氏、藤本昌也氏、藤原敬氏、三澤文子氏)

法人設立の周知を目的として、「100年後を見据えた地域の木質資源の利活用」をテーマに各界からの話題提供を行う設立記念講演を開催し、今後当法人が懸賞事業およびその他の事業を通じて推奨すべき地域の木質資源の利活用のあり方を探った。自治体、森林、木材、建築関係者、その他、72名が参加した。

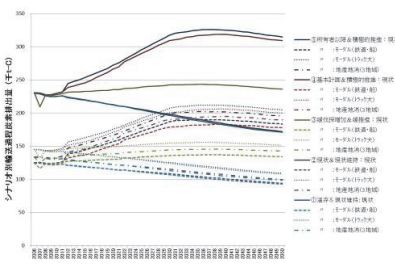
3. 第10回木の建築賞 (NPO木の建築フォーラム主催事業との連携)



(8/30 一次選考会／東京)応募作品活動60点のうち、20点が通過
(10/11 公開二次選考会／宇部)発表、投票、討論を経て11点が通過
(10月～12月／現地)選考委員による現地審査
(1/30 最終選考会／東京)各受賞作品活動決定

ウッドマイルズフォーラムは協賛(冠賞30万円)として参画し、活動「木と暮らすことを伝えたい／山一木材(香川)」が、ウッドマイルズアワードを受賞。5/31に東大で授賞式予定。

4. 伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発 (森林総合研究所共同研究) ※最終年度



5つのシナリオ別の国産材供給データ、及び素材・製品の需要データに基づき、鉄道・船舶の利用やトラックの大型化によるモーダルシフト、及び素材・製品の調達エリアの縮小化による輸送過程炭素排出量を推計した結果、いずれのシナリオにおいても輸送過程炭素排出量を削減できることが分かった。また、モーダルシフトは行わずに、素材・製品を全て3地域内(東日本・中日本・西日本)で調達した場合も輸送過程炭素排出量を削減できることが分かった。

3. 研究会の組織 (※ 2015/3/31 現在 会費納入済の数)

種別	2013(H25)年度末 (ウッドマイルズ研究会)	2014(H26)年度末	備考
個人正会員	70名	57名	13名減
団体正会員	18団体	21団体	3団体増
個人賛助会員	8名	9名	1名増
団体賛助会員	0団体	0団体	

2014年度（平成26年度） 事業会計収支決算書

2014年4月3日から2015年3月31日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
(1) 年会費			
・個人正会員 5,000円×57名	285,000		
・団体正会員 30,000円×21団体	630,000		
・個人賛助会員 3,000円×9名	27,000		
・団体賛助会員 3,000×0口	0		
		942,000	
2 事業収入			
(1) ウッドマイルズ関連指標およびツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの精査	0		
(2) 地域の木質資源の持続可能な利活用の手法に関する調査、研究、開発			
1) 伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（森林総合研究所共同研究）	1,350,000		
(3) 地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及、支援			
1) ウッドマイルズフォーラム2014開催	127,000		
2) 建築業界における懸賞事業	0		
3) 木材業界における認定事業	0		
		1,477,000	
3 その他			
(1) 利息・雑収入	10,045		
		10,045	
当期収入合計（A）		2,429,045	
前期繰越収支差額		0	
収入合計（B）			2,429,045
II 支出の部			
1 事業費			
(1) ウッドマイルズ関連指標およびツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの精査	0		
(2) 地域の木質資源の持続可能な利活用の手法に関する調査、研究、開発			
1) 伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（森林総合研究所共同研究）	1,321,210		
(3) 地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及、支援			
1) ウッドマイルズフォーラム2014開催	262,212		
2) 建築業界における懸賞事業（木の建築賞冠賞協賛金）	300,000		
3) 木材業界における認定事業	0		
		1,883,422	
2 管理費			
(1) 事務局委託費	0		
(2) 借損料（※総会会場費はフォーラム開催費に含む）	0		
(3) 旅費・交通費（※第1回理事会交通費）	351,960		
(4) 通信費	40,052		
(5) 支払手数料	9,016		
(6) 消耗品費	9,135		
(7) 租税公課（※法人住民税（均等割）東京都 含む）	65,300		
(8) 雑費（※法人設立関係雑損失 43,743円 商標登録関係は未計上）	43,741		
		519,204	
当期支出合計（C）			2,402,626
当期収支差額（A）－（C）			26,419
次期繰越収支差額（B）－（C）			26,419

2014年度（平成26年度）事業会計貸借対照表

2015年3月31日現在

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	36,110		
預金	309		
売掛金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		36,419	
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			36,419
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
前受金	10,000		
預り金	0		
流動負債合計		10,000	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			10,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		26,419	
正味財産合計			26,419
負債及び正味財産合計			36,419

2014年度（平成26年度）事業会計財産目録

2015年3月31日現在

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
現金手許高	36,110		
預 金			
みずほ銀行本郷支店	309		
郵便局	0		
売掛金	0		
前払金	0		
流動資産合計		36,419	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			36,419
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金		0	
未払金		0	
前受金			
2015年度個人正会員年会費（2名）	10,000		
預り金	0		
流動負債合計		10,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			10,000
正味財産			26,419

2014 年度 収支決算 監査報告書

一般社団法人ウッドマイルズフォーラムの2014年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2014年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成27年6月1日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

監 事 豊田保之 

2014年度 収支決算 監査報告書

一般社団法人ウッドマイルズフォーラムの2014年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要


会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2014年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成27年6月1日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

監事 山村 かつ子  印